

放射能学習会

(第1回)

東日本大震災に伴う東京電力福島原子力発電所の事故から放射能汚染が大きな問題となっている中、奥州市環境市民会議「奥州めぐみネット」では、8月4日に奥州市と共催して放射能学習会「放射能を上手にかわそう」を開催しました。

講師は、水沢区出身・在住の田中琢郎さんです。田中さんは、海上自衛隊航空学生を経て、日本航空でパイロットとして国際線ジャンボジェット旅客機に乗務、社内外において航空機の安全運行の第一線で活躍をされる中で放射線関係も学習、退職後の現在も、エビエーション・コンサルタントを開業、航空機設計、効率の向上、ヒューマンファクター関連の執筆を続けられています。

私たちが地上から見上げる青い空も実は4万フィート（13000 ㍎）以上は漆黒の世界、とパイロットの視線から見た地球の大気は1970 年代中頃から地上の光化学スモッグを反映して汚染が始まり、空気が大きく澱んでいると話されました。地上での環境ホルモンの結果、カエルやドジョウがいなくなり、花粉症が発生、また、乱開発で川の水量が少なくなった等、世界中の環境がこの半世紀で激変していると指摘されました。

放射能と放射線についても多面的に解説し、私たちは多くの放射線の中で生活を余儀なくされていると話されました。内部被爆の確率的影響についても、例えばヨウ素の半減期は8日に対し、プルトニウムは 238 万年で影響が極めて危惧される深刻な状況と解明しました。これらの放射線が 1960 ～70 年代がピークだったのに対し、現在はその 100 倍位の量が飛散しているとして、今回の原発事故後、外国人は東京にも子どもは戻っていないと指摘。内部被爆に対する対策として自己防衛、自己管理の重要性を訴えられました。

会場の前沢ふれあいセンターには約 120 人の市民が参加し、田中さんの講演に真剣に聞き入りました。若い女性の姿も目立ち、熱心に質問を行っていました。

**※第2回目の学習会を8月31日(水)午後6時半から前沢ふれあいセンターで開催します。
入場は無料となっておりますので、皆さんぜひご来場ください。**

当面の活動予定

8/25 農薬って、どんなもの？(生活環境部会)

8/31 放射能学習会

9/9 ビューポイント発見ツアー(自然環境部会)

9/14 不法投棄撤去作業(資源循環・廃棄物部会)

運営会議(7～8月)からのご報告

- ・おうしゅう環境フォーラム 2011 の内容について検討しました。
- ・放射能学習会の実施について検討しました。
- ・会報の内容について話し合いました。

水路（アドプト協定）について学びました！

自然環境部会は、6月16日（木）に水路（アドプト協定）の学習会を参加者7名により開催しました。

当日は、まず胆沢平野土地改良区を訪問し、「アドプト協定」について詳しい説明を受けました。胆沢平野土地改良区では平成15年度から地元団体などとアドプト協定の締結を進めており、現在は30地区（36団体）と協定を結んでいます。今年度も新たに水沢区内の1地区と協定を締結するとのことでした。

その後、胆沢平野土地改良区で協定を締結している水路7箇所を巡り、水路の施設の見学やパックテストを用いての水質調査などを実施しました。各場所も地元住人の皆さんなどによってきれいに管理されているようでしたが、実際に管理することの大変さや苦労なども聞くことができました。

今回、パックテストを実施した箇所の水は、「多少汚れた水」に相当する結果となりました。

アドプト制度

水路などの一部区間を「養子」とみなし、地域住民、団体などが「里親」となり、「養子」となった施設の一部区間を責任をもって保守管理していく制度です。

地域住民、団体など
（里親）

清掃、緑化活動など

水路などの一部区間
（養子）

表示板の設置

協定書

土地改良区及び市

①水の歴史記念公園・徳水園 （胆沢区若柳）



水温 15℃
pH 7.0

生き物に優しい「ホタルブロック」を設置→

②巾の下水路（胆沢区若柳）



水温 17℃
pH 7.0
COD 5

③寿安下堰水路「笹森親水公園」 （胆沢区小山）



水温 18℃
pH 8.5
COD 5

④寿安下堰水路「下笹森親水公園」 （胆沢区小山）



水温 15℃
pH 9.5
COD 5

⑤大深沢水路「大深沢水園」 （水沢区真城）



水温 20℃
pH 7.0
COD 5

水温 20℃
pH 7.0
COD 5



⑥明後沢水路「明後沢川ふれあい公園」 （前沢区古城）

⑦小違堰水路（乙女川）（水沢区）



水温 21℃
pH 7.5
COD 5

堀の内公園

水温 22℃
pH 7.5
COD 5



山崎公園

pH…水素イオン指数。pH 7が中性。pH 7より小さければ酸性、大きければアルカリ性。
COD…化学的酸素要求量。値が小さいほどきれいな水。

不法投棄発生場所調査を実施しました！

資源循環・廃棄物部会は、市内の不法投棄発生場所の調査を7月13日（水）に13名の参加で行いました。

市内で不法投棄の常習場所として確認されているのは49か所※ですが、その中から6か所を選定して現地の調査を行い、不法投棄の現状や地域の取り組みなどによって改善された状況を確認して回りました。※49か所には既に改善されたか所も含まれています。



調査で見られた不法投棄ごみです。
一般家庭からのごみなのでしょうか。



昨年度、不法投棄回収を実施した地点。
右は奥州めぐみネット設置の看板です。
設置の効果が確認できました！

昨年度、部会で同様の調査を行い、その中の1か所の不法投棄回収を実施し、後日「不法投棄防止看板」を設置したのですが、その後の状況も確認して回りました。昨年度の調査で粗大ごみが多く見られた場所は、今年度は状況がうって変わり、若干のポイ捨てはあるものの、粗大ごみは一切見られない状況でした。

部会員一同「不法投棄しづらい環境づくり」の大切さを確認した瞬間でした。

現地調査の後の部会では、不法投棄の防止に向けた意見交換や今後の活動についての話し合いが行われ、その中で次の事項が決定されました。

- ・9月14日（水）に不法投棄回収を実施します。【実施箇所：1か所】
- ・回収実施後は、不法投棄防止看板を設置します。

資源循環・廃棄物部会では、引き続き、不法投棄防止に向けた取り組みを進めます！

会員紹介

会員No. 団-10 / 環境学習部会所属

『特定非営利活動法人 奥州・いわてNPO ネット』 菅原恵子さん

特定非営利活動法人（略称「NPO」）の情報発信、コーディネート、運営上の相談、協働の推進、調査提言等の活動により、NPO・市民活動の充実を図ることを目的として活動する中間支援NPOです。

環境分野での活動では、環境活動する人材の育成や団体相互のコーディネートなどの行うのが特徴となっています。本年度の環境分野の活動について一部ではありますがご紹介いたします。

○水質検査・水生生物観察

地域の振興会、子供会、NPOと連携して開催します。

○地域の環境お宝発掘・発見調査

平泉ー世界遺産のルーツを自然環境から探ります。

○河川環境サポーター育成

河川環境活動勉強会とモクズガニの稚ガニの放流をします。

○モクズガニ調査

県南広域（一関～花巻）の北上川本流、支流でモクズガニの生息確認調査を行います。



※ 詳しい内容は、NPO ネット（メイプル地下 Tel22-4200）までお問合せください。



特集「東日本大震災」 ～今だから叫ぼう 脱原発～

「ほんとうにごめんなさい。もっと真剣に原子力問題に対峙してくればよかった」と、ある著名人が言っているのを何かで読みました。今回の東日本大震災による原発事故を受けて、同じ思いに苛まれた人は多いのではないのでしょうか。

私自身、六ヶ所村再処理工場から放射性物質が空や海にたれ流され続けていることを情報として知りながら、現地へデモに行くことはありませんでした。しかも福島原発とは比べ物にならないほどの危険を孕んでいることも知っていたにもかかわらず、署名やカンパはしても、どこか遠くにいたという苦い後悔があります。

今は亡き高木仁三郎さんが、そして広瀬隆さんが身を賭して訴え続けてこられたことが、これほどまでに残酷な形で現実になってしまうとは。原子力は人間の手に負えない。それに気づかされた今、遅きに失しているかも知れないけれど、声を大にして叫びましょう。「脱原発！！」と。

「だったら電気を使うな」「経済が立ち行かなくなる」「原発反対を唱えるのは無知でヒステリックな女どものたわごと」と、この期に及んで言う人たちがいるらしいけれど、うろたえることなく、負けずに頑張らなければ！ 何しろ子々孫々までの命にかかわる重大な問題なのですから。

もちろん、浪費に慣れ緩みきった身にとっては様ざまなつらい試練が待っているでしょう。でも、被災地の皆さんの大変さに較べたら何ということはないではないですか。「脱原発」を決めたら、あとはゆっくり、否、可及的速やかに再生可能エネルギー開発に向かってまい進すればいい。そう思いませんか？

話は少しかわりますが、8月4日にめぐみネットが開いた「放射能学習会」の中で、講師の田中琢郎氏は、いかに日本人は現実を知らされていないか、また知ろうとしなかったかを鋭く指摘されました。それは世界の常識からすると驚き以外の何物でもなく、今を契機に私たちは変わらなければならないと。

いま、岩手県産の牛肉が放射能を帯びている疑いがあるということで、出荷停止の憂き目をみています。マスコミも、消費者は心配だから輸入肉を選ぶ傾向があると言っています。しかし田中氏によれば、怖いのはむしろ輸入肉。米国産輸入肉は低温殺菌されており、それは放射線照射によるものだとか。寡聞にして私はそれを知りませんでした。しかし知らなかったでは済まされないことです。しっかりと目と耳を開き、本当のことを知る努力を怠らないことでしか身を守ることはできない、そう教えていただいた貴重な時間でした。

中井 慶

◇ 編集委員の独り言 ◇

七夕の日、京都から一通のお便りが届きました。

それは、昨年の環境フォーラムでご講演いただいた若杉友子さんからでした。震災後の私達を気遣うお便りと、『野草の力をいただいて』という本が入っていました。

こういう時だからこそ、「草の生命力で、いのちと国を立て直すんや」写真やレシピも満載の若杉ばあちゃんからの元気とメッセージがたくさん詰まった一冊です。

『若杉友子の野草料理教室』『野草の力をいただいて』『おばあちゃんの四季の野良レシピ』の三冊を若杉文庫として、めぐみネットのみなさんに気軽に読んでいただけるよう、貸し出しも致して居ります。本庁生活環境課内に置かせて貰っておりますので、皆さんどうぞご利用ください。 若生和江



映画「ミツバチの羽音と地球の回転」上映会のご案内

～ 原発問題とエネルギーの自給を考えさせられる映画です ～

上映日時：平成 23 年 8 月 28 日（日）①10 時～、②14 時～、18 時～

会 場：胆江地区勤労者教育文化センター

チケット：前売り 1000 円 当日 1300 円 （高校生以下無料）

プレイガイド：コープアテルイ、胆江地区勤労者教育文化センター、産直ころが、簡文ストア胆沢店、サンエー江刺店

事務局 奥州市水沢区大手町一丁目 1 番地

奥州市役所市民環境部生活環境課内

電話 0197-24-2111 / ファックス 0197-51-2374 / メール seikatsu@city.oshu.iwate.jp

ホームページ http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/kankyou/osyu_siminkaigi.html

